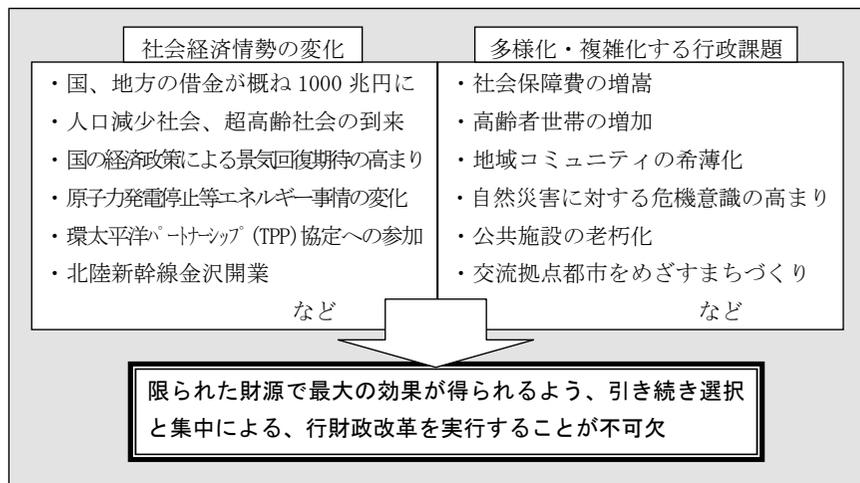


## 今後の行政改革の取組みについて

### 1. 次期行政改革大綱の策定の必要性

社会経済情勢が大きく変化中、多様化・複雑化する行政課題に迅速・的確かつ効率的に対応していくためにも、引き続き行政改革大綱を策定し、改革に不断に取り組んでいく必要がある。



### <参考1> これまでの金沢市行政改革大綱の策定状況

- ・第1次 (H 8～10) 中核市の指定をにらんだ整備
- ・第2次 (H11～12) 分権型社会に対応した行政体制の整備
- ・第3次 (H13～15) 21世紀に対応する市政運営体制の確立
- ・第4次 (H16～21) 市民と協働し経営的感覚を磨き計画的な改革を進める  
[金沢市行政改革実施計画 (集中改革プランH18～21) の策定]
- ・第5次 (H22～26) 分権と交流の時代にふさわしい協働と連携によるスリムで質の高い市政の実現

### <参考2> 金沢市行政改革大綱(第5次)の概要

基本方針	1 協働と連携による行政の推進	(1) 役割分担に基づく市民協働の推進 (2) 透明度の高い市政の運営 (3) 連携による新たな取り組みの推進
	2 時代のニーズに即応した行政運営の確立	(1) 効率的で機動的な行政体制の確立 (2) 成果重視の行政経営システムの確立 (3) 質の高いサービスの提供
	3 財政の健全性の堅持	(1) 財政の自立性の確保 (2) 事務事業の見直し (3) 公共事業の適正化

### <参考3> 他都市の改革の柱 (H24年に行政改革大綱等を策定した中核市10市の状況)

- (1) 本市と同じ内容を改革の柱(基本指針)としている自治体
- ①市民協働、地域活動の推進に関する事 (6市)
  - ②効率的、効果的、質の高い行政運営、市民サービスの向上に関する事 (9市)
  - ③財政健全化、財政構造改革に関する事 (10市)
- (2) 本市と異なる内容を改革の柱としている自治体
- ①市役所の意識改革、人材育成、信頼性確保に関する事 (5市)
  - ②行政の見える化に関する事 (2市)
  - ③その他
    - ・都市の魅力・価値の育成 [都市ブランドの確立など] (盛岡市)
    - ・未来を創造する戦略 [シティープロモーションの推進など] (豊田市)
    - ・都市の体質転換 [定住・転入促進、医療費・扶助費等適正化など] (尼崎市)
    - ・組織力の強化 [政策形成機能強化など] (高知市)

### 2. 策定スケジュール(予定)

